

技術・システム検討ワーキンググループの 設置について

平成28年12月13日

WG設置の目的

- 発災後速やかな災害廃棄物量および質の把握手法の高度化及び実績データの蓄積
- 首都直下地震等を想定した災害廃棄物の適正かつ迅速な処理技術・システムの高度化

主な調査・検討事項

- ① **災害廃棄物の発生量及び要処理量の推計手法の高度化**
 - 災害廃棄物発生量及び要処理量の実績データベースの設計
 - 災害の種類や市町村の特徴を把握した上での災害廃棄物推計量と処理実績量の比較・検証
 - 目的別の災害廃棄物要処理量推計手法の検討及び推計に必要なデータの入手方法の検討
 - 災害廃棄物処理を円滑に実施するための効果的なデータの蓄積・活用手法の検討
- ② **処理困難物の適正かつ円滑な処理のための災害廃棄物の質の把握及び情報共有手法の検討**
 - 発災時に求められるメッシュ単位での処理困難物の発生ポテンシャル量の推計手法の検討
 - 処理困難物の生活環境や処理等への影響度の整理及び自治体等との情報共有手法の検討
- ③ **首都直下地震等を想定した災害廃棄物対策技術・システムの検討**
 - 首都直下地震の被害想定を考慮した災害廃棄物の二次仮置場における中間処理技術・システムの検討
 - 災害廃棄物処理事業の円滑化に資する情報管理のためのフォーマット及びデータ取得方法の検討

WG委員(案)

勝見 武	京都大学大学院地球環境学堂 教授
河邊 安男	日本環境衛生センター 理事
宗 清生	国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 災害環境マネジメント戦略推進オフィス
高田 光康	日本廃棄物コンサルタント協会
永田 尚人	日本プロジェクト産業協議会 防災委員会 委員